

が、少し離れていても上空には多くの鳥が飛来していた。おそらく私が訪れたその時も、亡骸が横たわっていたのであろう。ゾロアスター教は火を崇め自然を汚さないことを重視する宗教である。神聖なる火で遺骸を焼くことは許されず、また自然を汚すことの少ない鳥葬が選ばれたのだそうだ。

現在では猛禽類が減少し、鳥葬を行うことも困難になりつつあるが、それでも猛禽類を飼育したり、現代の技術で鳥が啄みやすい処置を施したりと、なんとか鳥葬を続けようと、高級住宅街の隣では試行錯誤が続いているようである。



公園で遊ぶ少年達 写真の左外では鳥葬台が望める

このように生と死、貧困と富、聖と俗。様々なものが混沌と共存している。これがインドなのだ。今回訪れることはなかったが、かの有名なガンジス川では、野菜を洗うこと、洗濯、巡礼者の沐浴、トイレ、亡骸を流すこと、それらがすべて同じように行われているというのではないか。再び、様々な異なるものを飲み込みながら成長するそのインドの魅力に浸り、お釈迦さまが歩まれたこのインドの地を訪れる機会をまた楽しみたい。



1887年に完成したターミナル駅



さに、NoパクチーNoインドである。次回インドを訪れる時には覚悟が必要であろう。おわり

尊光寺 報恩講の日程が変わります！

毎年、12月第3日曜日とその前日

先般の門信徒総会において、尊光寺報恩講日程の変更を協議しました。これまで毎年12月22、23日に法要を行っていましたが、天皇陛下の御代替わりにより祝日ではなくなることから、参拝ならびに準備の便を考慮し、日程を土日に変更することにし、毎年12月第3日曜日とその前日の土曜日の二日間に報恩講を修行いたします。また、これにともなうて仏具磨きや餅つきなどの準備日程も変更になりますので別途お知らせ致します。

令和元年(2019)	12月14日-15日	当番：知恵島組
令和2年(2020)	12月19日-20日	当番：麻植組
令和3年(2021)	12月18日-19日	当番：八幡組
令和4年(2022)	12月17日-18日	当番：市場東組
令和5年(2023)	12月16日-17日	当番：市場西組
令和6年(2024)	12月14日-15日	当番：日開谷阿波組
令和7年(2025)	12月20日-21日	当番：土成東組
令和8年(2026)	12月19日-20日	当番：土成西組
令和9年(2027)	12月18日-19日	当番：柿原組

※当番の組は現在の組分けで変更の可能性もあります。

行事報告

3月の春のお彼岸法要。講師は四夷法顕師。笑顔あふれる仏さまのお話をしてくださいました。



5月1日、宗祖降誕会法要ならびに門信徒総会の会食。



6月18日、徳島仏教婦人会連盟総会ならびに門信徒研修会。法話と人形浄瑠璃と沖縄民謡による舞台。



6月24日-25日、本山本願寺・大谷本願寺へ参拝と納骨の旅。京都集合も合わせて70名程で参拝できました。

副任職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中

■ 仏教講座『御文章(ごぶんしよう)』

「聖人一流の」。浄土真宗中興の祖、蓮如上人が門信徒へ宛てた手紙が『御文章』です。宗祖、親鸞聖人の念仏の教えをやさしく説かれた『御文章』を、原文に沿って読み解き、仏教とは何か、念仏とは何か、一緒に学んでまいりましょう。

●毎月第3金曜日 10時～11時半 月額2500円(税別)

【教室・申込先】徳島新聞カルチャーセンター・徳島本校

徳島市川内町平石若宮92-4

TEL 088-665-8500

■ 親鸞聖人と『歎異抄(たんにしよう)』

「悪人こそが救われる!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧読み解きあじわってまいります。

●毎月第2月曜日 13時半～15時 月額2500円(税別)

【教室・申込先】教室は、阿波おどり会館内

申込は、徳島新聞カルチャーセンターさごう校

徳島市寺島本町西1-5さごう徳島店9階

TEL 088-611-3355

※両講座はこれまでのNHKカルチャー教室から徳島新聞カルチャー教室へ移りました。

令和元年 年忌表

1周忌	平成30年
3回忌	平成29年
7回忌	平成25年
13回忌	平成19年
17回忌	平成15年
25回忌	平成7年
33回忌	昭和62年
50回忌	昭和45年
61回忌	昭和34年
100回忌	大正9年
150回忌	明治3年
200回忌	文政3年
250回忌	明和7年
300回忌	享保5年

過去帳・お位牌をお調べください